

5年間で3.4兆円

表1 予算編成過程での自然増カット（国費）		計1兆4600億円
13年度	生活保護の生活扶助費削減など	▲2800億円
14年度	診療報酬の実質1.26%減額 生活保護の生活扶助費削減など	▲4000億円
15年度	介護報酬2.27%減額 生活保護の冬季加算削減など	▲4700億円
16年度	診療報酬1.31%減額	▲1700億円
17年度	医療・介護の自己負担の月額上限引き上げ 後期高齢者医療の保険料値上げなど	▲1400億円

表2 法改悪などによるカット（給付費）		計1兆9918億円
年金	13～15年 「特例水準解消」で2.5%減	▲1兆2500億円
	15年度 「マクロ経済スライド」で0.9%減	▲4500億円
	17年度 物価変動を踏まえ0.1%減	▲500億円
医療	17年度 70～73歳まで2割負担	▲968億円
介護	15年 2割負担導入	▲750億円
	施設の居住費・食費負担増	▲700億円

※削減が判明している主な項目

今後の検討	
医療	介護
75歳以上の窓口負担1→2割 70歳以上窓口負担の上限さらに引き上げ 後期高齢者の保険料さらに値上げ 入院居住費さらに値上げ かかりつけ医以外受診時定額負担	利用料を原則2割 利用料の負担上限額引き上げ 要介護1、2の保険給付外し

安倍政権の社会保障の負担増と給付削減は医療

ストップ患者負担増①

・介護・年金・生活保護の各分野にわたっている。自然増削減は5年間で（13～17年度）で1兆4600億円（表1）、法改悪などに基づく削減は5年間で1兆9918億円（表2）。社会保障削減の総額は判明しているものだけで3兆4500億円にのぼる。

総理は1月20日に招集された通常国会の施政方針で、社会保障費の伸びを毎年5000億円以上削減したことを「美を結んだ」と語り、引き続き推進すると表明した。

17年度予算案
17年度予算案では概算要求6400億円を約1400億円削減。医療では、▽70歳以上の窓口負担の上限の引き上げ、▽18年度末までに措置（後期高齢者の保険料の値上げ、▽療養病床に入院する65歳以上の高齢者の

際限なき社会保障費削減

居住費値上げを盛り込んだ。介護では、▽一般的な所得の人の利用料の上限を引き上げる中身を盛り込んでいる。政府は17年度以降も、▽介護保険への3割負担導入（18年8月に実施を計画）、▽「かかりつけ医普及」を理由に定額負担導入（18年通常国会に法案提出）▽「市販品類（医薬）」の負担増や保険外

今号に同封 負担増中止で新署名



医療・介護の負担増の中止を求める新たな請願署名運動が始まる。署名は、通常国会（会期は6月18日）で提案される、後期高齢者医療制度の保険料軽減措置の撤廃、70歳以上の高齢者の高額療養費の月額上限引き上げなどの中止を求める。安倍政権の社会保障削減路線にストップをかける中心的な運動となる。

代議員会で表彰



歯科会員実増2位

2016年度の歯科医師の会員実増数で大阪歯科協会は、全国2位となった。保団連が1月29日に東京都内で開いた第2回代議員会で小澤力理事長が表彰された（写真）。

会員増加数で全国牽引

組織部は、会員の入会促進や地区組織の運営を担うほか、地域医療、文化活動、女性医師歯科医師の会など、会員の多彩な要求に応える企画推進を担う。

協会は1971年、100人の会員で発足し、現在4060会員の組織に発展。大阪府内で開業する約7割の歯科医師が入会している。年間歯科開業医会員増加数では全国の保険医協会を牽引する（15年・1位、16年・15・16年度も各地区は学

組織部

協会は1971年、100人の会員で発足し、現在4060会員の組織に発展。大阪府内で開業する約7割の歯科医師が入会している。年間歯科開業医会員増加数では全国の保険医協会を牽引する（15年・1位、16年・15・16年度も各地区は学

第53回定期総会 会員とともに

術講習会や文化活動、歯科健診、自治体への要求運動などを展開した。入会促進とサービス提供では、新規開業医講習会や新規開業セミナー、文化活動では親睦ゴルフ・料理教室・手話教室・写真教室（4月1・15日予定）などを開催。16年の診療報酬改定で新設された「か強診」にも対応した、外来環、支援診の講習会には約500人が参加した。

17・18年度は4100人会員を目指し、会員サービスに充実を促す。会員の先生方への協力を紙上を借りてお願い申しあげたい。

福祉医療改悪NO 天王寺前で街宣



大阪府が計画する福祉医療助成制度の改悪に反対しようと、お大師さんで賑わう四天王寺で、歯科・医科協会は1月21日、署名活動に取り組んだ。辻本勝副理事長（写真）と事務局が参加した。保団連近畿ブロックが行った患者負担増中止を求める署名宣伝との統一行動として取り組まれたもの。

今号に同封

保険医の経営と税務

経営と税務

『保険医の経営と税務』（全国保険医団体連合会発行）の最新版。確定申告、共済制度と税金の取り扱い、医業所得計算のポイントなど、経営のノウハウを紹介。B5判233ページ、定価1500円



外来環境加算講習会（5月）は多数の参加で賑わった

お知らせ

保険算定のルールやレセプトの返戻などに関するお問い合わせは、社保研究部直通電話06-6568-7467をご利用ください。

歯界

チョコレ1 トばかりに2月の消費シェアを独占させてきたら、和食業界が「恵方巻き」で巻き返しを図っている。近頃、コンビニやスーパーがやたらと特売するようになった。とはいえ、パレンティンデーに匹敵するほど定着してはいない。老人二人だけの我が家では、「チホウ巻き」とか「エホバ巻き」などと誤称している。チョコレートに対抗する強力な大型新人の登場で、バトルは面白そうである。

チョコレートはデザインを凝るが、中身の多様性では寿司にはかなわない。寿司の具材の種類は無限に近い。聞いたことのない輸入食材にも馴染む。薩摩鍋みたいな「たべてびっくり寿司」も登場しそうだ。

チョコは主に若者がターゲットだが、寿司なら、高齢社会も追い風となるかもしれない。気がかりは、高値に張り付いている海苔相場だ。この対決は、アベノミクスの恩恵とは無縁な庶民の財布をこじ開けられるにかかっている。